



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和8年7月17日（金）、つがる市立車力小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等が、かかし作りを通じて交流を行う「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2026」を開催しました。

日米の参加者29名（小学生19名、軍人等10名）は、混合5チームに分かれ、児童が事前に準備した「かかし」のイラストをもとに制作を開始。かかしのポーズを決める場面では、実際に同じポーズを取りながら、日本語と英語を交えてイメージを共有する姿も見られました。その後、かかしの骨組みに縄や藁（わら）を巻き付け、ポーズを取った「かかし」の体を作成。できあがった「かかし」の体に、服や小物で装飾を施しました。藁で刀や犬などを作成し、「かかし」を装飾するチームもあり、約2時間で5体の個性豊かな「かかし」が完成しました。

参加者からは「何を作るか、米軍の人とコミュニケーションをしっかりと取ることができた。」、「かかしを作るのは初めてだったが、素敵な時間を過ごすことができた。」などの感想が寄せられました。

今回制作した「かかし」は、つがる市北消防署（7月17日（金）～8月10日（月））、つがる市役所（8月10日（月）～26日（水））に展示し、人気投票を行います。人気投票の結果は、9月中旬の表彰式で発表する予定です。

最初は緊張した様子だった児童もイベント終了後には、米軍と笑顔でハイタッチを交わし、積極的にコミュニケーションを取る姿が見られるなど、笑顔にあふれる交流の場になりました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解を深め、信頼関係醸成の一助となるよう今後も様々な形で活動してまいります。



かかしの作り方説明



各チームで自己紹介



かかしのベース作成



かかしの頭部作成



かかしの腕作成



おやつ休憩



服を着せてデコレーション



交流の様子



完成したかかし



記念撮影